

『みんながよろこぶとわたしもうれしい』-2

《わがままな心とおもいやりの心》

「みんなで朝のあいさつをしましょう、お早うございます。」という言葉が6年生の代表がいます。でも、今年の6年生はその前にひとことお話をしてから挨拶の言葉を言ってくれています。今の桃五小のみんなが気をつけたいこと、目当てにしたいことなどを話してくれています。今朝の代表の言葉は、明日から11月になってしまうこと、学芸会が近づいていること。他の学年の人たちも学芸会に向けて力を合わせてがんばりましょう。」そんな内容の話をしっかりと全校に伝えることができました。

6年生のお話に応じて、桃五小のみなさん一人一人の心のこもった朝の挨拶。とても気持ちのいい挨拶ができました。

今、6年生のお姉さんが話してくれたみんなで力を合わせ、心をつにすること、6年生の移動教室で感じたこととお話します。

そこで、今日は、「みんながよろこぶと私もうれしい」という話をします。

先週、6年生のお兄さんお姉さん達が、伊豆の弓ヶ浜というところへ移動教室で行ってきました。

移動教室というのは、5年生では富士山、6年生では弓ヶ浜という海の近くに、友達や先生と一緒に泊まりで出かけ、力を合わせて三日間元気に仲良く楽しく暮らしてくる、一緒にお風呂に入り、一緒に同じ部屋で寝て、一緒に食事をしてみんなで力を合わせて、楽しい三日間にする。自分のいいところを出して、みんなと心をつにして過ごさなければなりません。

その移動教室に私も6年生について、一緒に行って来ました。そのときの事です。

二日目の夕食の準備をしている食堂へ行きました。移動教室では宿舎の食堂の方々がつくってくださった食事を、各部屋の班のなかで選ばれた「食事係」の当番の人が自分たちのグループの分をテーブルに丁寧に配膳していきます。

どのグループの食事係さんも真剣そのもの。黙って丁寧にそして一生懸命仕事をしています。それぞれの班のテーブルで配膳している食事係さんの様子を見ていて毎年思うことですが、誰か見ていなくても、自分のものでなくても、丁寧にグループの誰かさんが気持ちのいいように、実に丁寧に仕事をする姿に感心してしまいます。

サラダやハンバーグ、おみそ汁やご飯、そのほかたくさんの料理を一人一人のお盆の上に並べていくのですが、この食事係のお嬢さんが、首をかしげながらお盆にのせた料理を何度も何度も並び替えています。何をしているのかとそっと見ていると、並び替えては眺めまた並び替えています。じょうずにのせて、少しでも食べやすく、そしておいしそうにと、一生懸命工夫していたのです。誰も見ていないのに、誰もほめてくれないのに。でも、みんながよろこぶように、みんなが食べやすいように心を入れて自分の仕事を丁寧にしている。そして、こんな食事係さんもいました。自分の班の仕事が終わると、まだ終わっていないところに回って一生懸命に手伝っています。誰かに言われてやっているのではなく

自分から進んで、手伝おう、ほかの人に力を貸そう、と思ったので。このように、まわりを見回して、自分が今みんなのためにできることを一生懸命にする、すてきなあとを思いました。他の人に心を配る。これを『心配する』と言います。他のことに気を配る。これを『配慮する』と言います。

一生懸命自分の仕事、役割を果たすってすばらしいですね。みんなのために自分のよいところや得意なことを生かしてがんばるって、すばらしいな。

そのうえさらに、心のアンテナを高くして、自分のまわりの人に気を配り、心を配り、「みんながよろこぶとわたしもうれしいな」と思える気持ちをもつということもとても大切です。

ところが、学校へ帰ってみて、普段の様子の子の桃五の皆さんを見ていると、思いやりや心配りとは反対の、『わがままな人すこしの我慢もできないでいる人もたくさん見かけます。そして、きまって「だって」「でも」と、人のせいにして手が出たり、足が出たりしてしまう人もいます。

みんなの気持ちを思いやるのか、人のせいにしてぶったり蹴ったりしてしまうのか。ちょっとした気持ちの違いが大きな違いになる。

自分も人も大切にするには、人のことをぶったり悪口を言ったりすることは……、決してやっては……(いけない)、いけないことですよね。

皆さんが、みんなのために自分のできることを考えて、少しずつ自分のいいところを出し合えたら、桃五小はとってもとってもすてきな学校になりますね。

1年生も2年生も、3年生も4年生も、そして、5年生も6年生も桃五小は皆学芸会。みんなと一緒に、「みんなが喜ぶとわたしもうれしい」という気持ちをもって、仲良く元気に楽しくがんばれるといいですね。

